

都道府県別PKU患者発生調査について

住 吉 好 雄

マターナルPKUの問題を考える場合、どうしても必要な事は、PKU患児、特に治療を受けた女児が、生殖年齢に達した時、マターナルPKUのことをよく説明し、妊娠する前から低フェニールアラニン食を始めることが大切であると云うことを指導することである。

その為にはPKUで治療を受けた女性がどこで追跡管理を受けているか、小児科医から内科医を経て産婦人科医へのバトンタッチがスムーズに行われる事が、何よりも大切である。そこで、現在各都道府県に、何才のPKU女性が何人居るかを調査した。

方法：特殊ミルク事務局で把握して居られる情報、厚生省発表の発生状況、各都道府県の検査所ならびに日母各支部よりの情報をもとに作製した。

結果：次に示す一覧ならびに全国各都道府県別マップに見られる結果が得られた。

フェニールケトン尿症都道府県別(居住地)一覧

- | | | |
|------------|-------|----------|
| 1. 北海道(5名) | 男性 2名 | 女性 3名 |
| | | { 1才-1名 |
| | | { 2才-1名 |
| | | { 3才-1名 |
| 2. 青 森(0名) | 男性 0名 | 女性 0名 |
| 3. 岩 手(2名) | 男性 2名 | 女性 0名 |
| 4. 宮 城(3名) | 男性 2名 | 女性 1名 |
| | | (1才-1名) |
| 5. 秋 田(2名) | 男性 0名 | 女性 2名 |
| | | { 2才-1名 |
| | | { 11才-1名 |

6. 山形(6名) 男性1名 女性5名(*1名)
 $\left\{ \begin{array}{l} 4才-1名 \\ 13才-2名 \\ 15才-1名 \\ 16才-1名 \end{array} \right.$
7. 福島(0名) 男性0名 女性0名
8. 茨城(3名) 男性3名 女性0名
9. 栃木(1名) 男性1名 女性0名
10. 群馬(7名) 男性2名 女性5名(*2名)
 $\left\{ \begin{array}{l} 2才-3名 \\ 3才-1名 \\ 5才-1名 \end{array} \right.$
11. 埼玉(10名) 男性5名 女性5名
 (*4名) $\left\{ \begin{array}{l} 3才-1名 \\ 7才-1名 \\ 8才-1名 \\ 9才-1名 \\ 25才-1名 \end{array} \right.$
12. 千葉(3名) 男性2名 女性1名
 (*0名)(12才-1名)
13. 東京(19名) 男性7名 女性12名(*6名)
 (*2名) $\left\{ \begin{array}{l} 4才-2名 \\ 5才-2名 \\ 6才-2名 \\ 9才-1名 \\ 12才-1名 \\ 13才-1名 \\ 14才-1名 \\ 19才-1名 \\ 不明-1名 \end{array} \right.$

14. 神奈川(13名) 男性 8名 女性 5名 (*1名)
(*6名) { 5才-1名
6才-1名
11才-1名
不明-2名

15. 山 梨(1名) 男性 1名 女性 0名

16. 長 野(2名) 男性 1名 女性 1名
(6才-1名)

17. 静 岡(7名) 男性 3名 女性 4名 (*2名)
(*4名) { 14才-1名
18才-1名
22才-1名
26才-1名

18. 新 潟(2名) 男性 1名 女性 1名
(15才-1名)

19. 富 山(2名) 男性 1名 女性 1名
(17才-1名)

20. 石 川(3名) 男性 3名 女性 0名

21. 福 井(5名) 男性 3名 女性 2名
(*性別不明1名) { 7才-1名
8才-1名

22. 岐 阜(5名) 男性 3名 女性 2名 (*1名)
(6才-2名)

23. 愛 知(16名) 男性 6名 女性 10名
{ 1才-1名
4才-1名

}	9才-2名
	11才-1名
	13才-1名
	15才-1名
	16才-1名
	21才-2名

24. 三重(4名) 男性1名 女性 3名 (*2名)

}	1才-1名
	5才-1名
	17才-1名

25. 滋賀(4名) 男性1名 女性 3名

}	4才-1名
	5才-1名
	12才-1名

26. 京都(9名) 男性2名 女性 7名 (*7才以下7名)

}	(*4名)	2才-1名
		3才-1名
		5才-1名
		6才-1名
		15才-1名
		29才-1名
		30才-1名

27. 大阪(22名) 男性8名 女性 14名

}	2才-1名
	7才-1名
	9才-1名
	11才-2名
	14才-1名
	15才-2名
	16才-1名
	17才-1名

22才—2名
 25才—1名
 34才—1名

28. 兵庫(24名) 男性13名 女性 11名
 1才—1名
 5才—2名
 7才—1名
 16才—1名
 20才—1名
 22才—1名
 23才—1名
 24才—1名
 25才—1名
 26才—1名

29. 奈良(5名) 男性4名 女性 1名
 (23才—1名)

30. 和歌山(2名) 男性1名 女性 1名
 (17才—1名)

31. 鳥取(1名) 男性0名 女性 1名
 (14才—1名)

32. 島根(2名) 男性2名 女性 0名

33. 岡山(3名) 男性2名 女性 1名(*5名)
 (10才—1名)

34. 広島(4名) 男性3名 女性 1名
 (6才—1名)

35. 山口(1名) 男性1名 女性 0名

36. 徳島(1名) 男性0名 女性 1名
 (5才—1名)

46. 鹿児島（6名） 男性3名 女性3名（*1名）

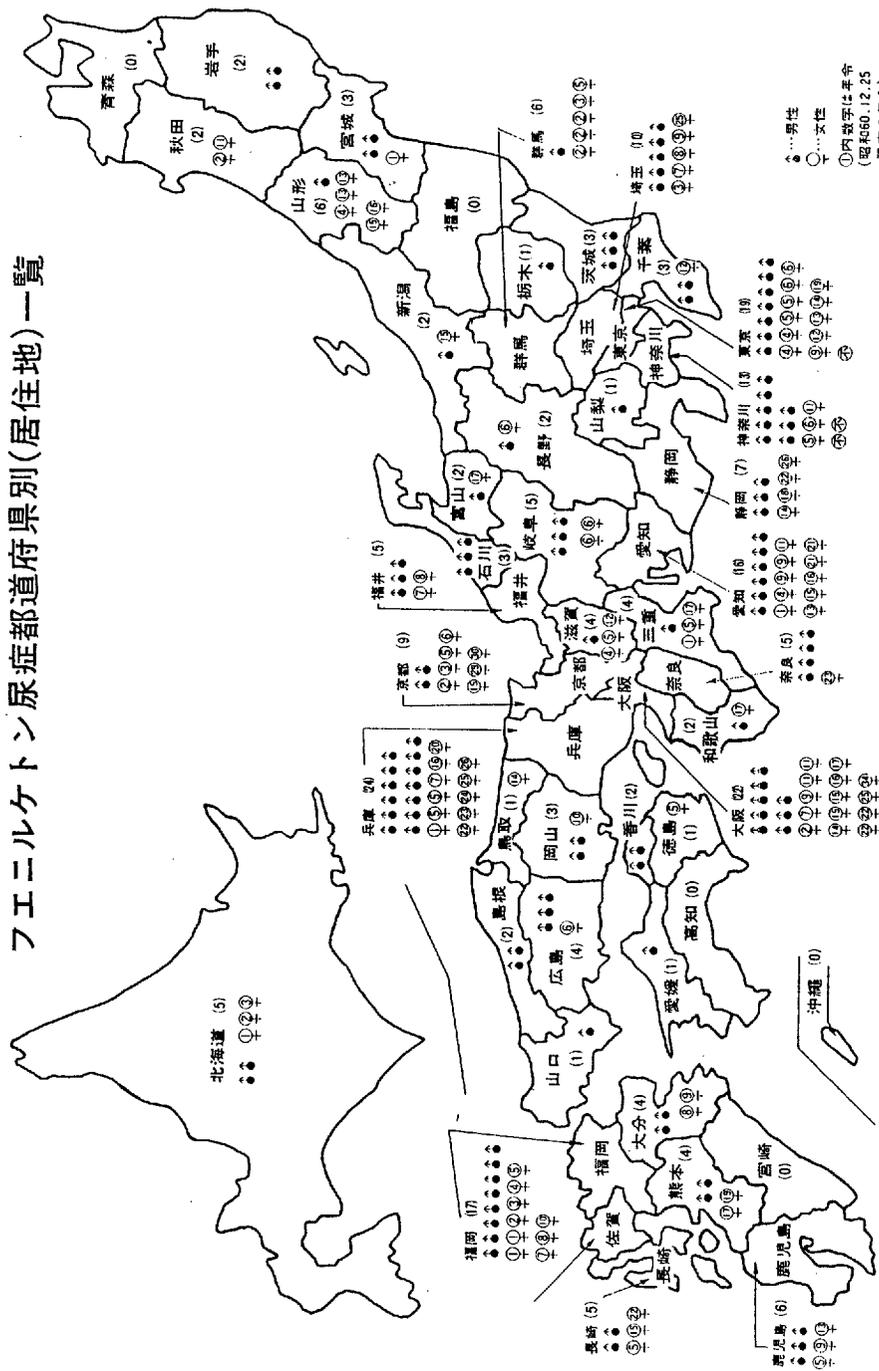
{ 5才-1名
9才-1名
13才-1名

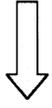
47. 沖縄（0名） 男性0名 女性0名

計 241名 男性116名 女性125名

（*）印は日母支部報告数

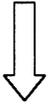
フェニルケトン尿症都道府県別(居住地)一覽





検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



マターナル PKU の問題を考える場合、どうしても必要な事は、PKU 患児、特に治療を受けた女兒が、生殖年齢に達した時、マターナル PKU のことをよく説明し、妊娠する前から低フェニールアラニン食を始めることが大切であると云うことを指導することである。

その為には PKU で治療を受けた女性がどこで追跡管理を受けているか、小児科医から内科医を経て産婦人科医へのバトンタッチがスムーズに行われる事が、何よりも大切である。

そこで、現在各都道府県に、何才の PKU 女性が何人居るかを調査した。

方法:特殊ミルク事務局で把握して居られる情報、厚生省発表の発生状況、各都道府県の検査所ならびに日母各支部よりの情報をもとに作製した。